



## 熊本県の金融経済概観

(2020年2月6日)

### 1. 概況

熊本県内の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては、緩やかに拡大している。先行きについても、基調としては、緩やかな拡大が続くと予想される。

最終需要面をみると、個人消費は、消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の改善などを背景に、基調としては、堅調に推移している。この間、観光は、全体として回復基調にあるが、一部の地域では厳しい状況が続いている。他方、住宅投資は、弱含んでいる。また、公共投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、大地震後の復旧需要は減少しているが、再開発案件を中心に高水準を維持している。

生産面をみると、海外経済の下振れリスクはあるものの、持ち直している。

雇用・所得面をみると、労働需給は、引き続き逼迫している状況にあるが、このところ幾分弱含んでいる。この間、所得面では、改善基調が続いている。

この間、19年12月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は+0.3%と、36か月連続で上昇した。

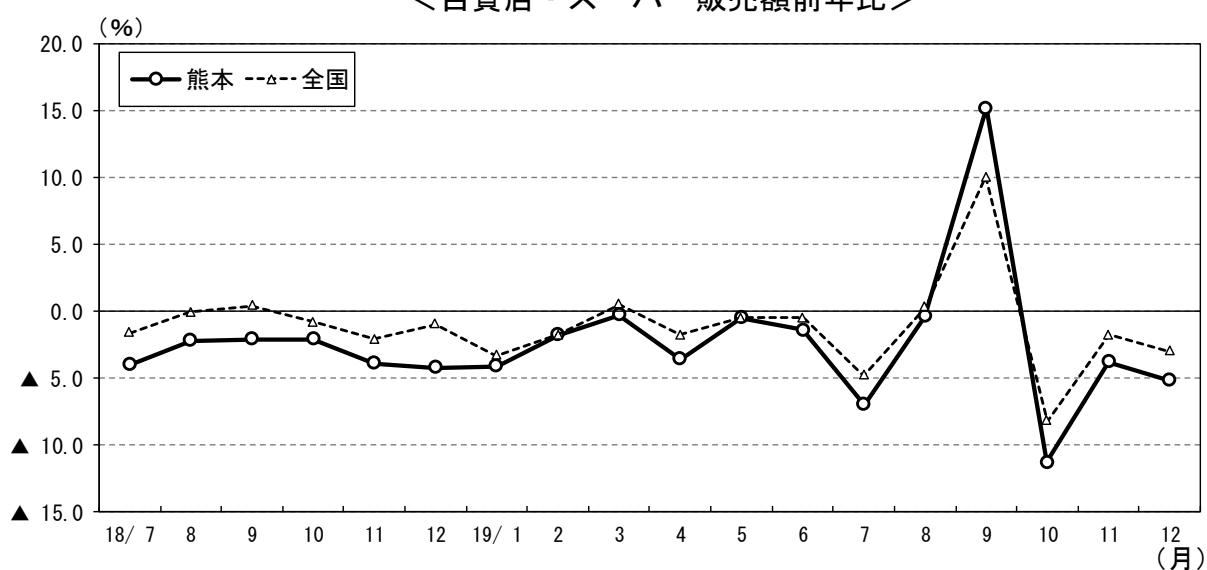
## 2. 個人消費

個人消費は、消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、雇用・所得環境の改善などを背景に、基調としては、堅調に推移している。

19年12月の百貨店・スーパー販売額および家電販売額は、消費増税後の反動減から、前年を下回った。19年12月の乗用車の新車登録台数（含む軽）は、消費増税後の反動減等から、前年を下回った。

観光は、全体として回復基調にあるが、一部の地域では厳しい状況が続いている。

＜百貨店・スーパー販売額前年比＞

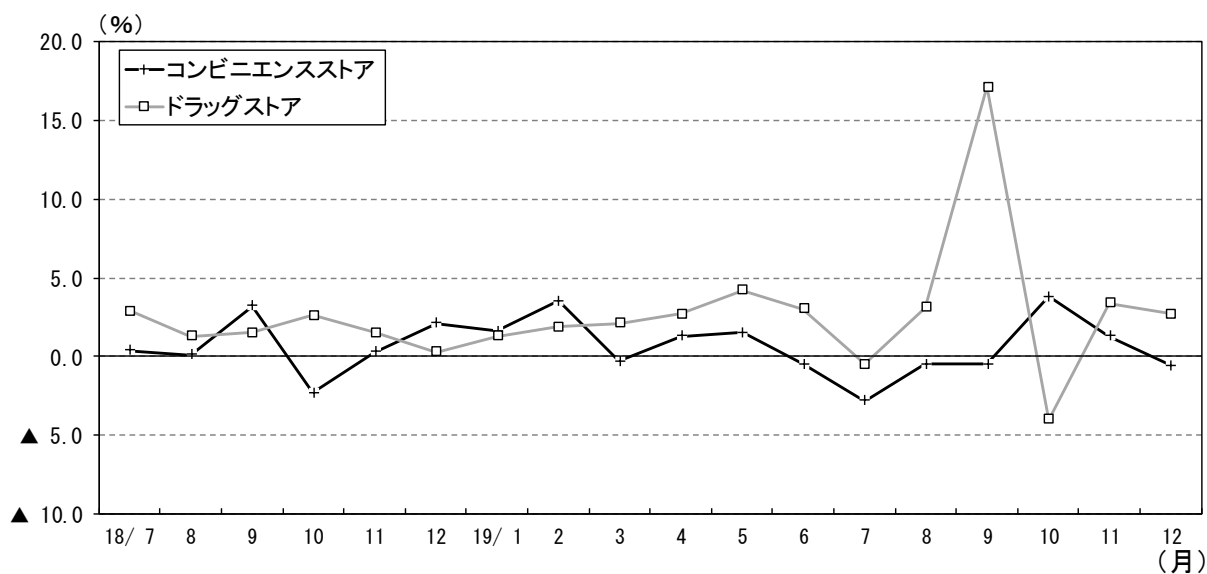


(注) 既存店ベース。

(出所：経済産業省)

12月は速報値

（参考）＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額（熊本）前年比＞

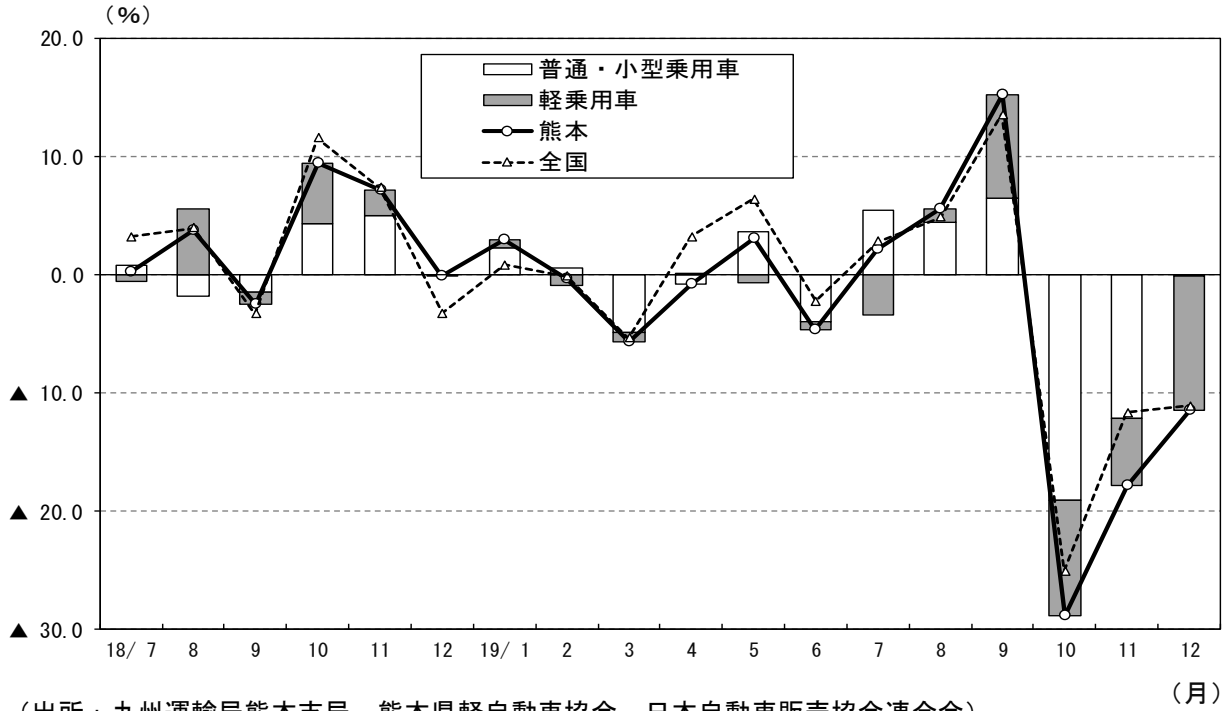


(注) 全店ベース。

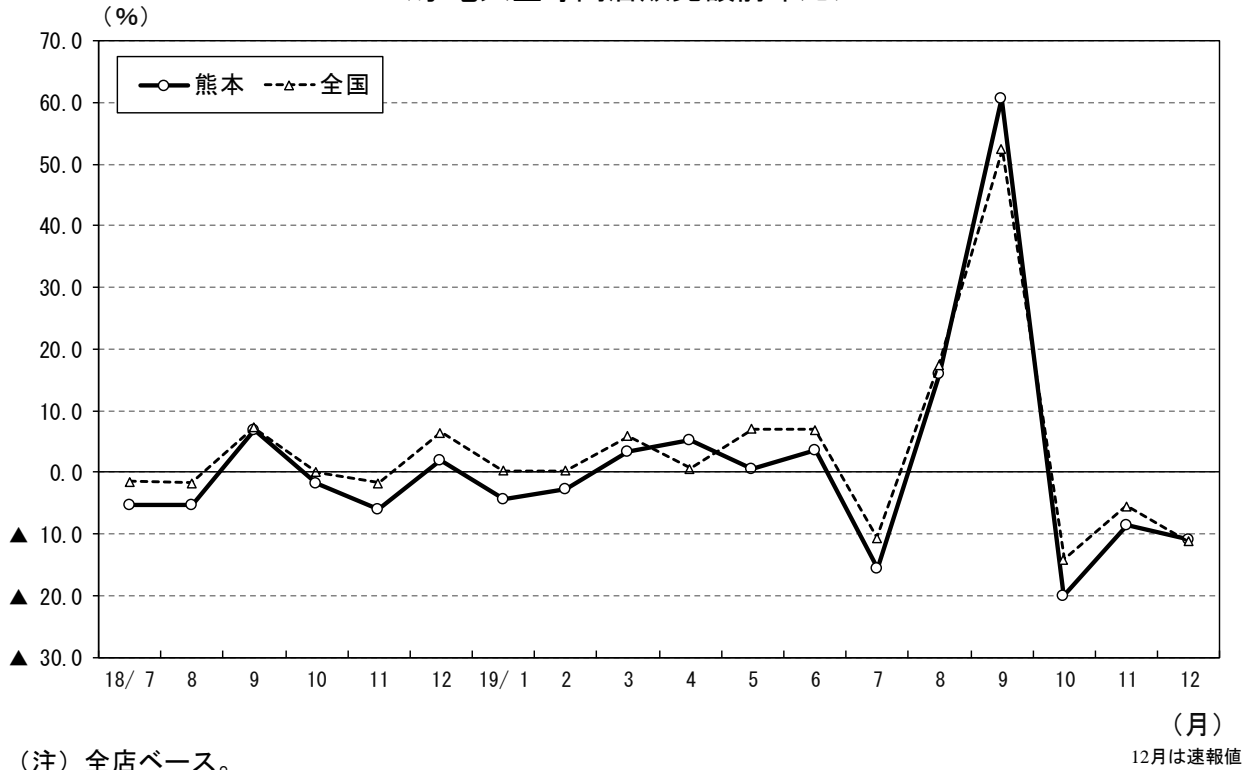
(出所：経済産業省)

12月は速報値

＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度＞



＜家電大型専門店販売額前年比＞

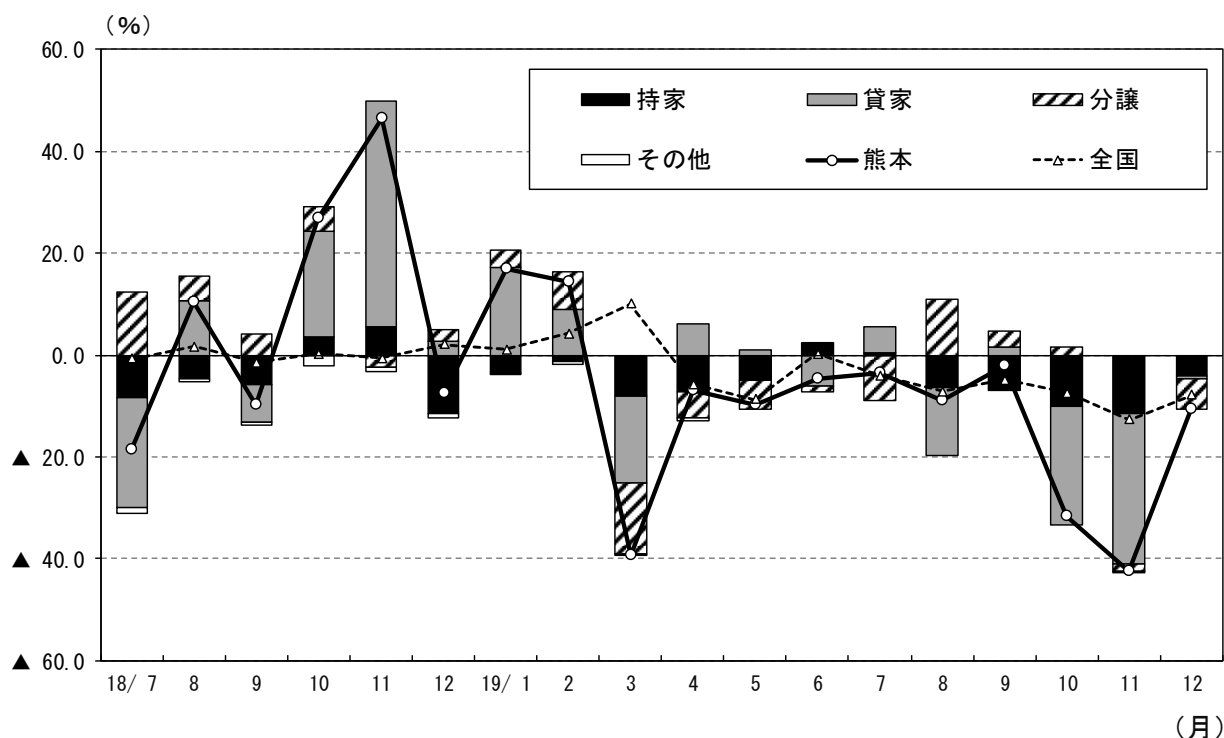


### 3. 住宅投資

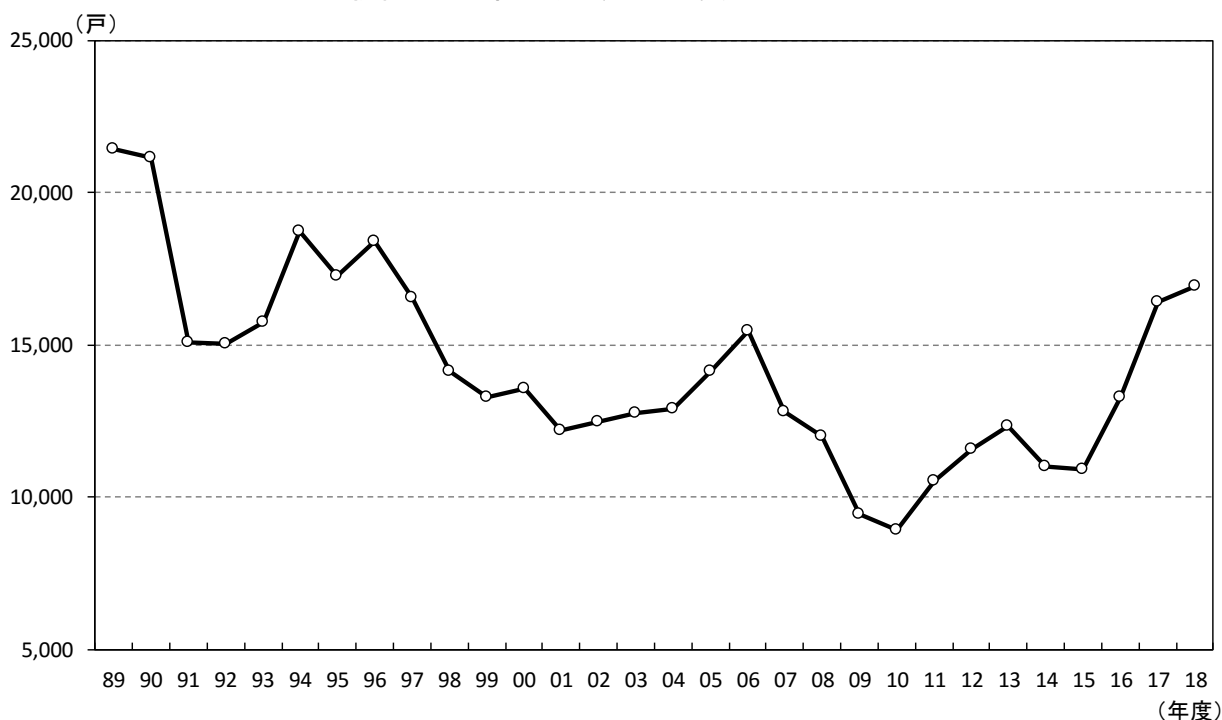
住宅投資は、弱含んでいる。

19年12月の新設住宅着工戸数は、分譲の減少により、前年を下回った  
 (12月：前年比▲10.6%、4-12月：同▲14.7%)。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度＞



＜新設住宅着工戸数（年度ベース）＞



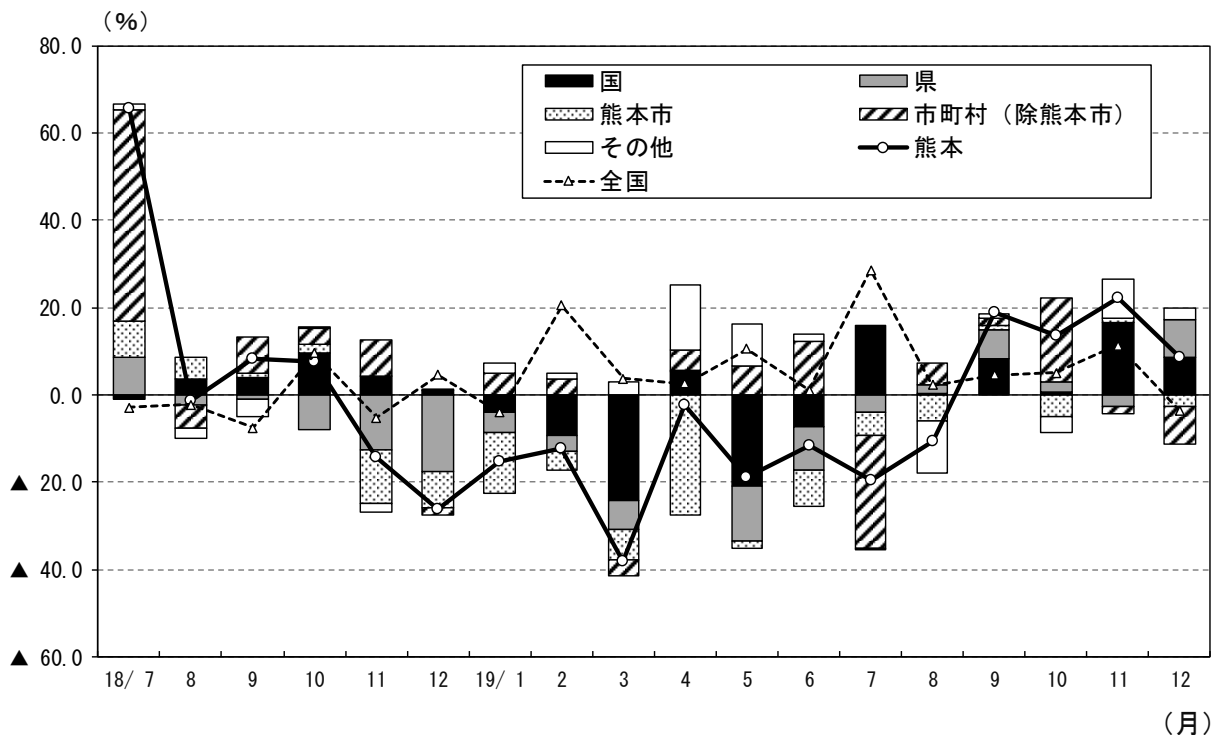
(出所：国土交通省)

#### 4. 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

19年12月の公共工事請負金額は、県や国を中心に、前年を上回った（12月：前年比+8.7%、4-12月：同▲0.9%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度＞



＜公共工事請負金額（年度ベース）＞



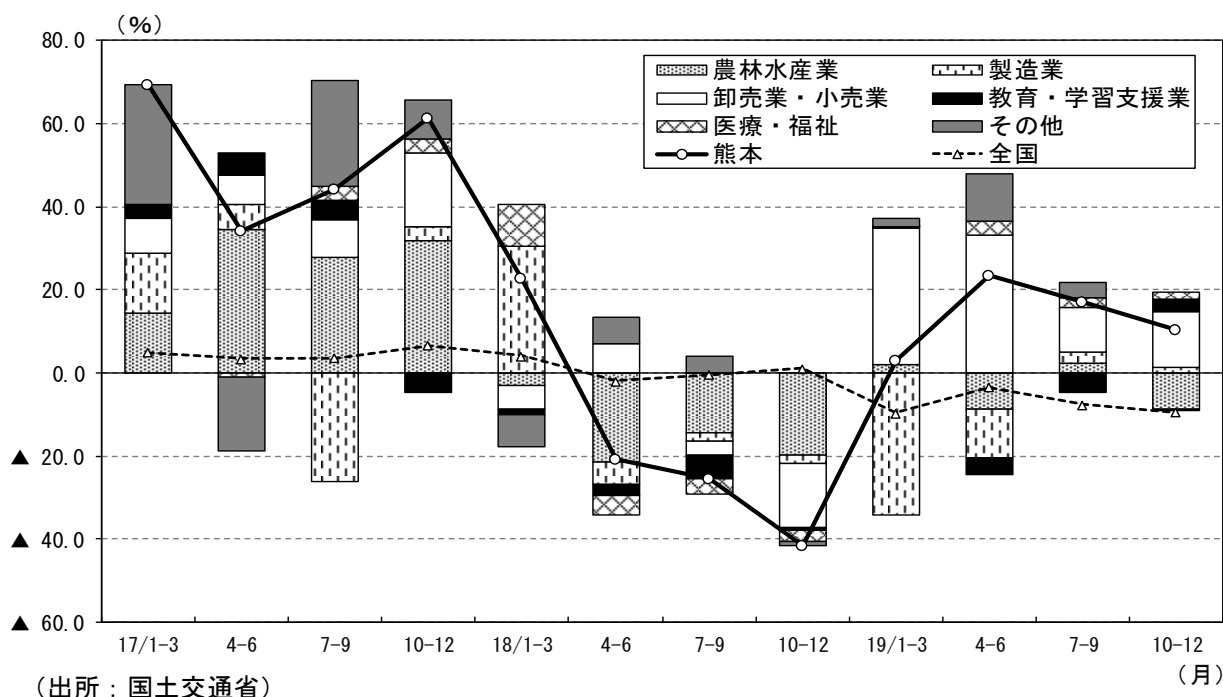
（出所：西日本建設業保証、東日本建設業保証）

## 5. 設備投資（建設投資）

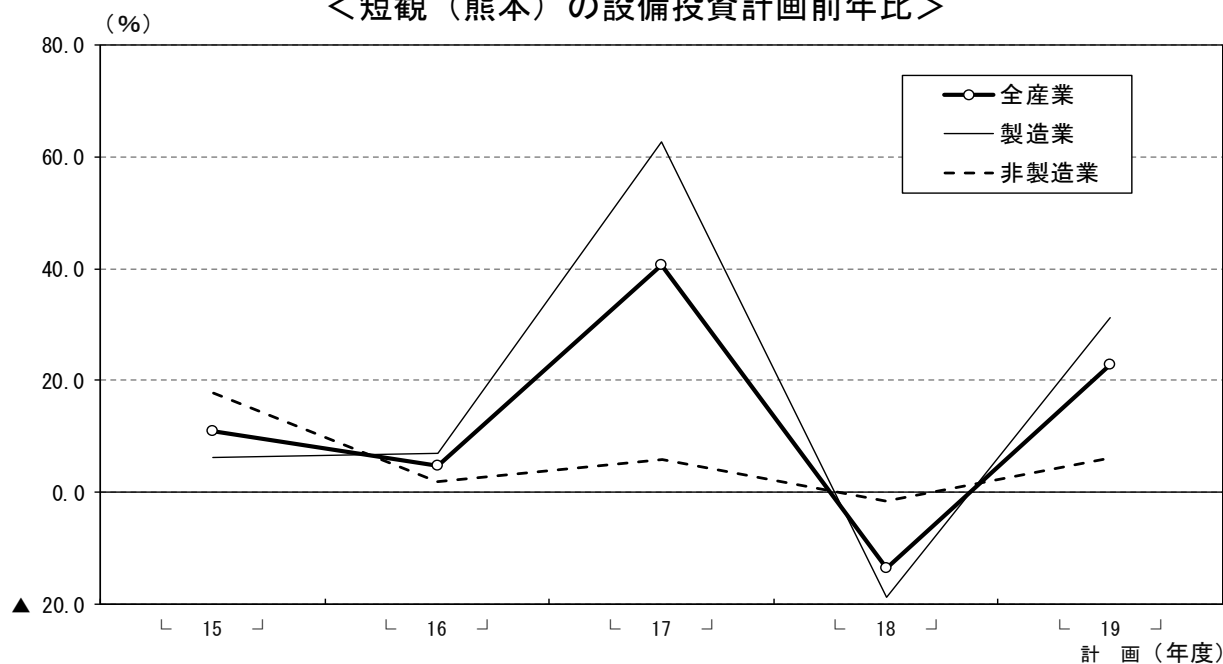
企業の建設投資は、大地震後の復旧需要は減少しているが、再開発案件を中心に高水準を維持している。

19年12月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、卸売業・小売業を中心に、前年を上回った（12月：前年比+98.2%、4-12月：同+17.3%）。

＜建築着工床面積・用途別前年比寄与度（非居住用・民間）＞



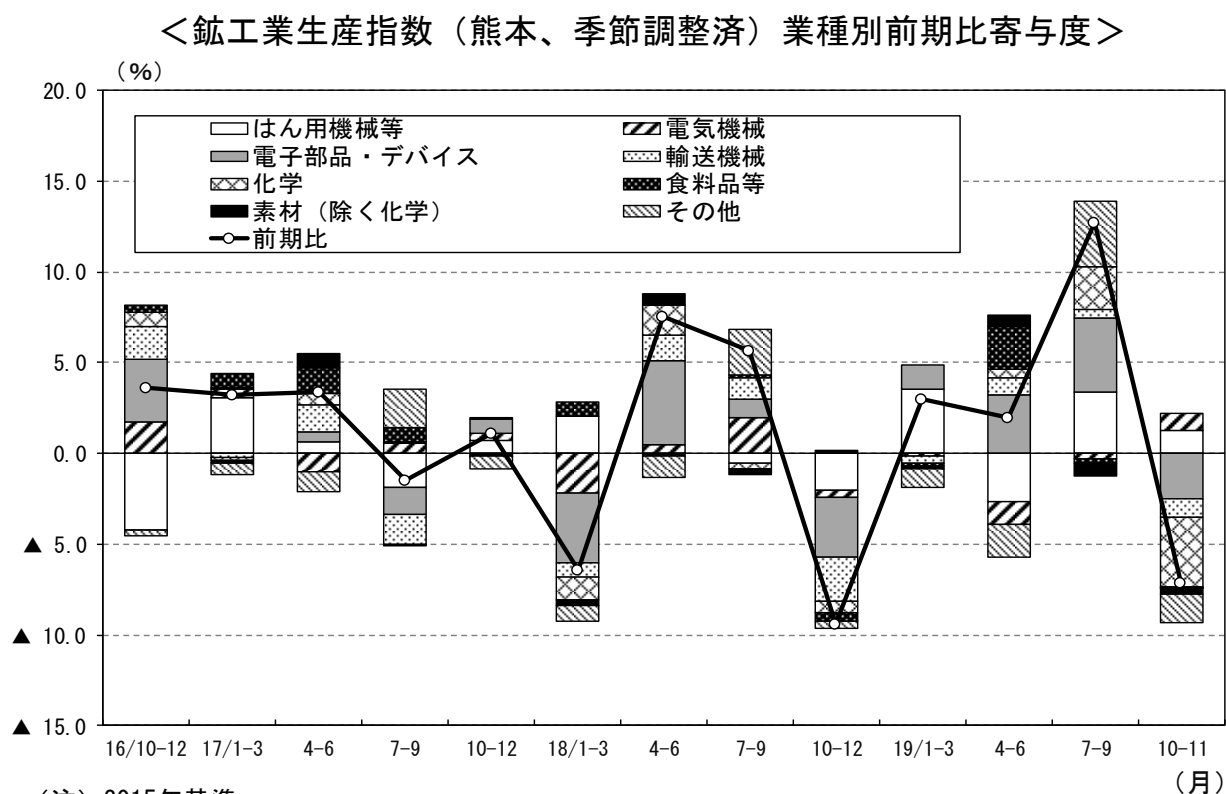
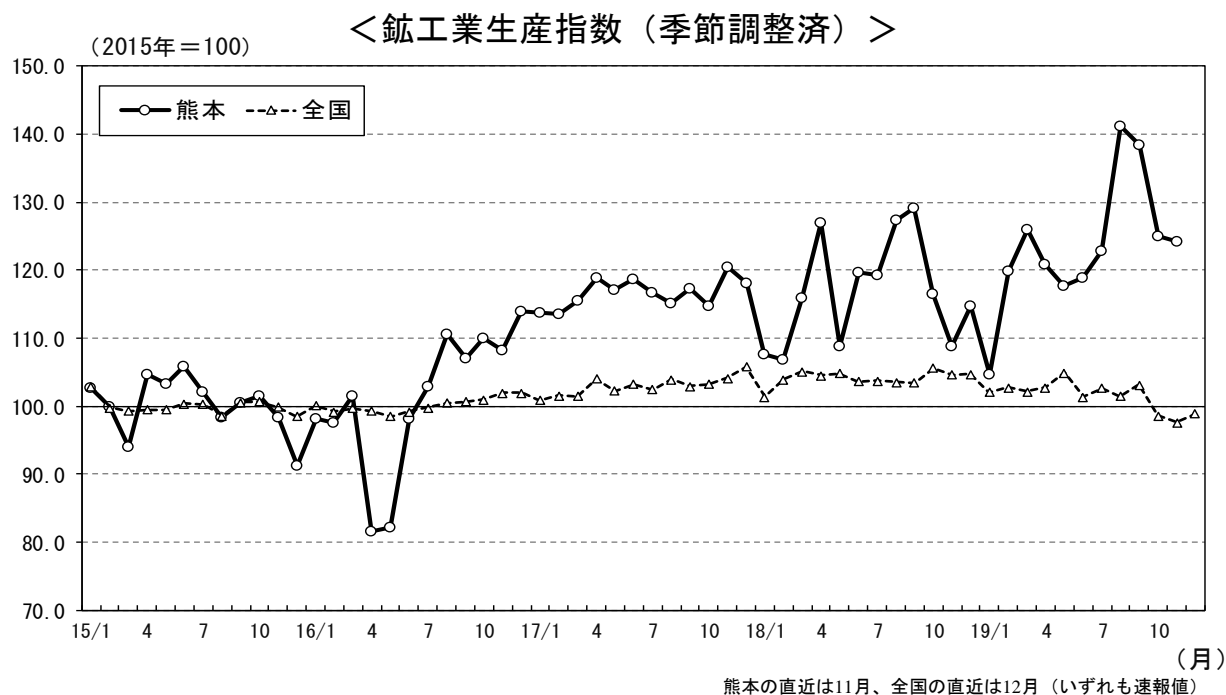
＜短観（熊本）の設備投資計画前年比＞



## 6. 生産

生産面をみると、海外経済の下振れリスクはあるものの、持ち直している。先行きは、振れを伴いつつ推移する見通し。

19年11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、「電子部品・デバイス」を中心に、前月を下回った（11月：前月比▲0.6%）。



(注) 2015年基準。

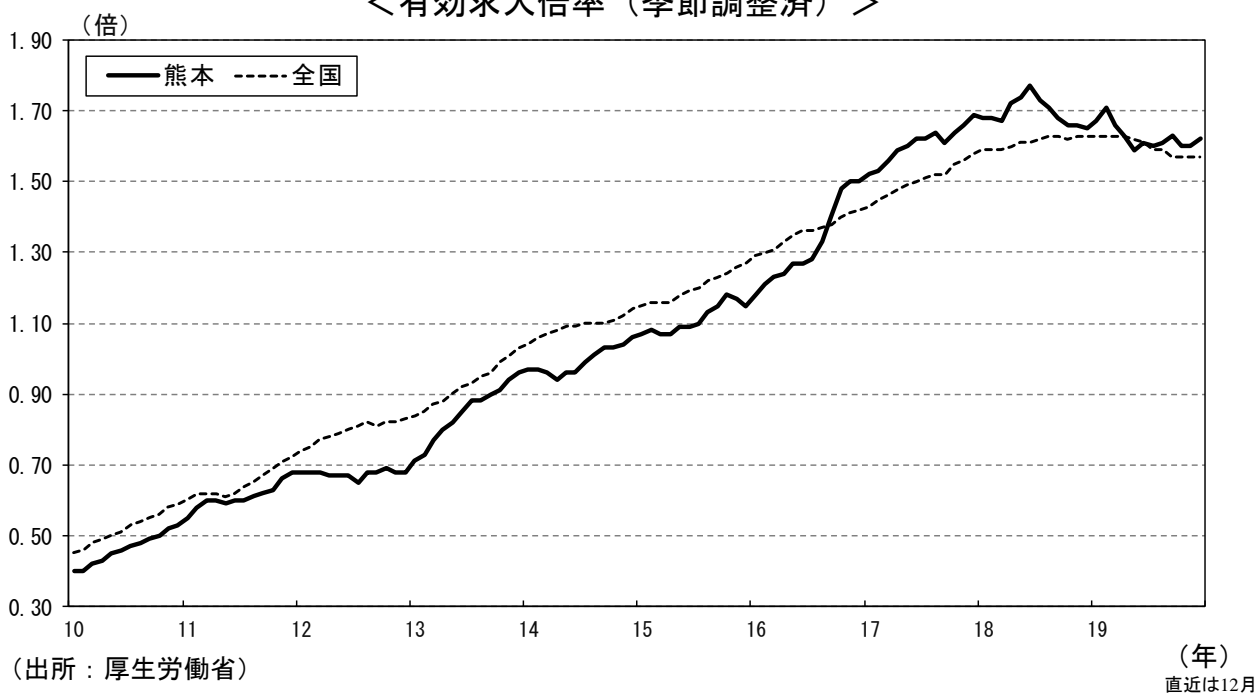
(出所：熊本県、経済産業省)

## 7. 雇用・所得

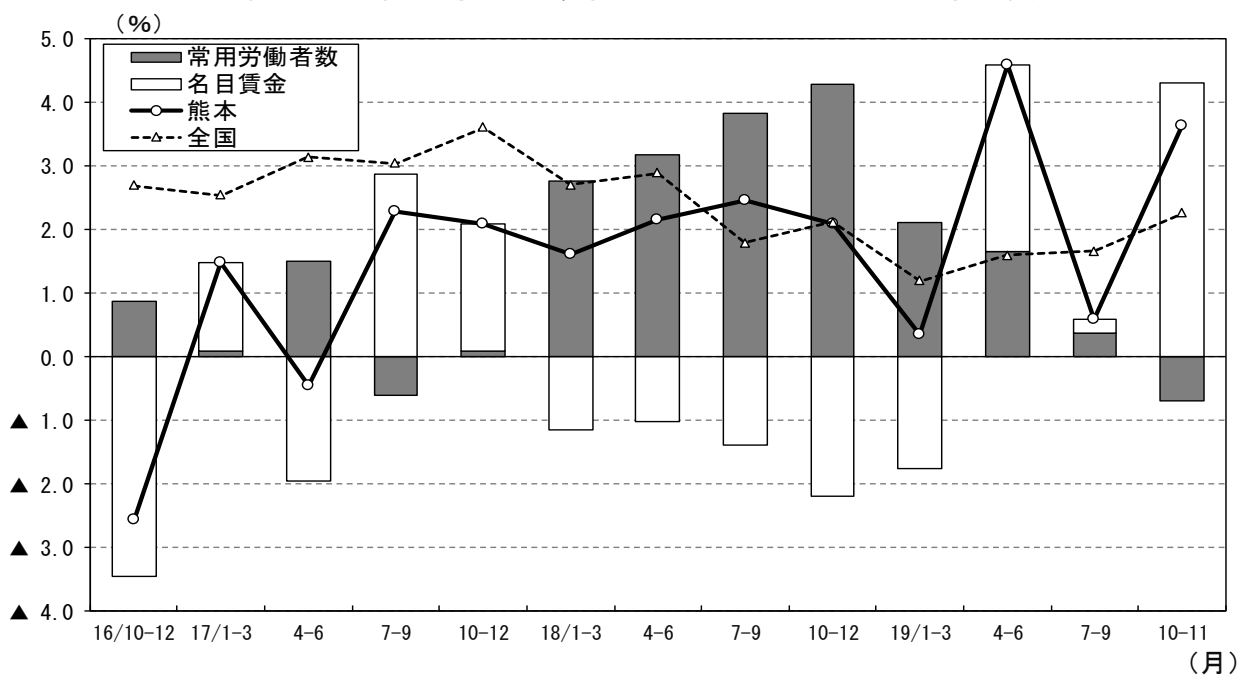
県内の労働需給は、引き続き逼迫している状況にあるが、このところ幾分弱含んでいる。この間、所得面では、改善基調が続いている。

19年12月の熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、1.62倍と前月から上昇した。

＜有効求人倍率（季節調整済）＞



＜雇用者所得（事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞



（注1）2015年基準。

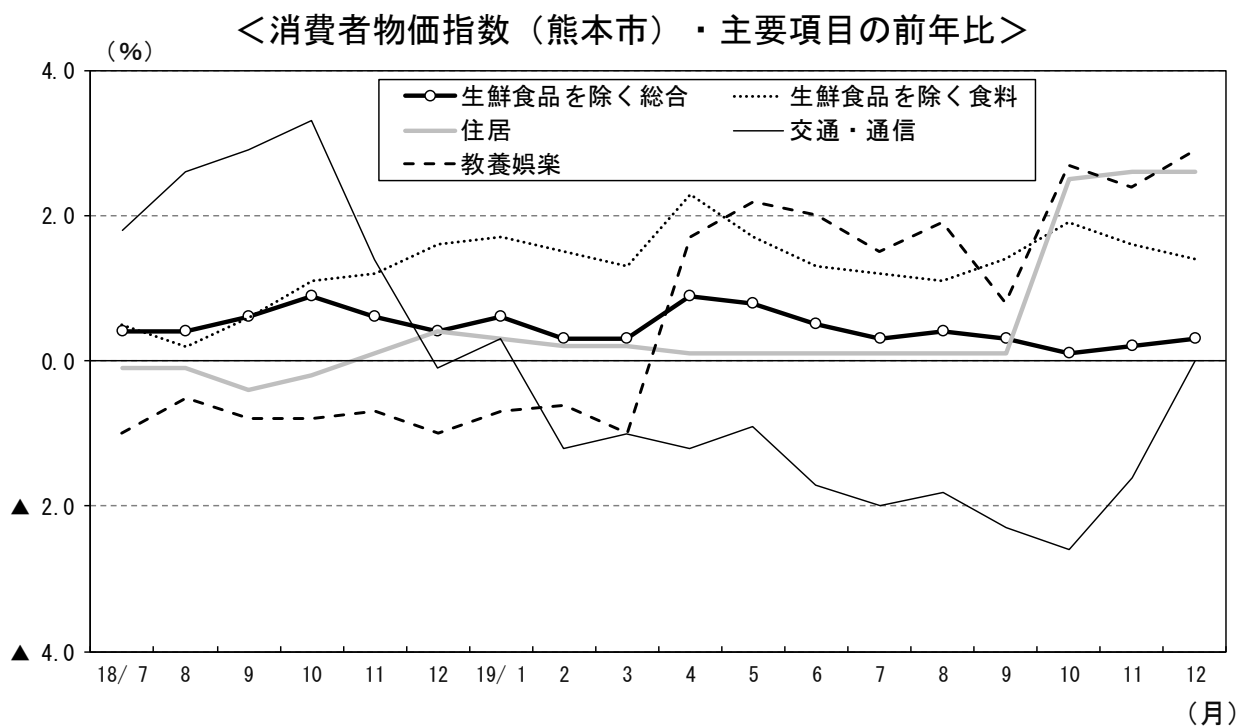
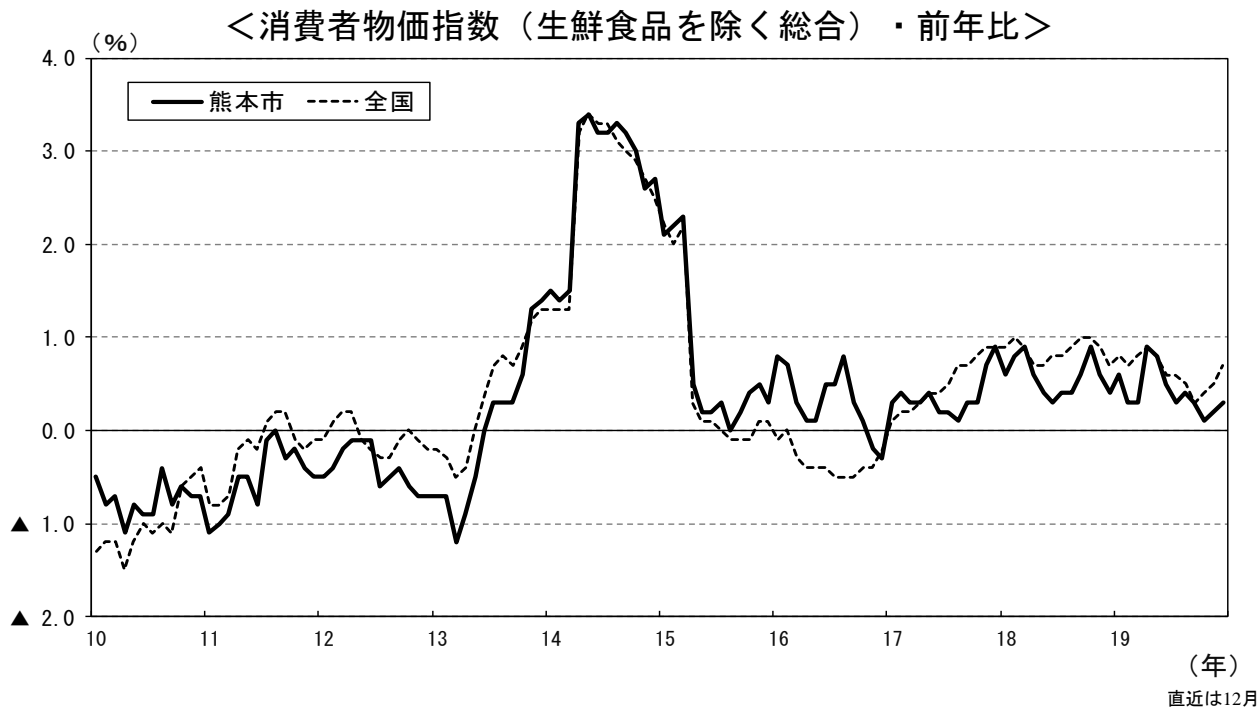
（注2）雇用者所得＝常用労働者数×名目賃金。

（出所：熊本県、厚生労働省）



## 8. 消費者物価

19年12月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は+0.3%と、36か月連続で上昇した。



(注) 2010年12月までは2005年基準、2011年1月～2015年12月は2010年基準、2016年1月以降は2015年基準。

(出所：総務省)

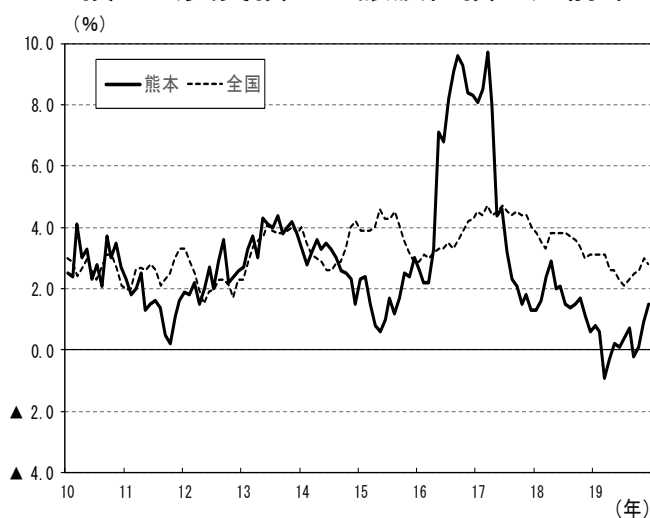
## 9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

19年12月の預金（実質預金＋譲渡性預金）動向をみると、個人預金を中心に前年を上回った（前年比：熊本県＋1.5%、全国＋2.8%）。

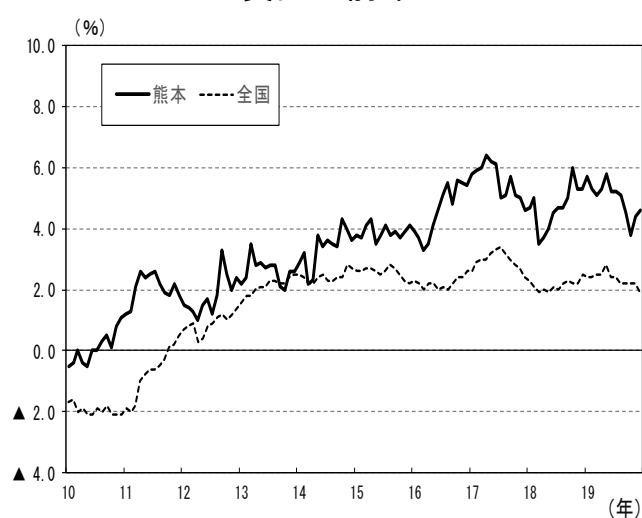
貸出金は、引き続き大きく伸びている（同：熊本県＋4.6%、全国＋1.9%）。内訳をみると、個人向けは、住宅ローンを中心に増加している。法人向けは、設備資金が徐々に増えてきている。

貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、1.059%と既往ボトムを更新した。

＜預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比＞



＜貸出金前年比＞

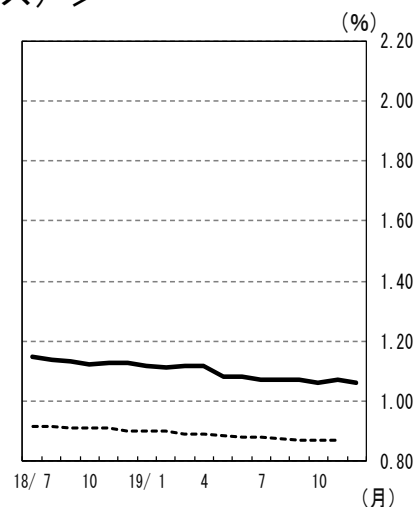
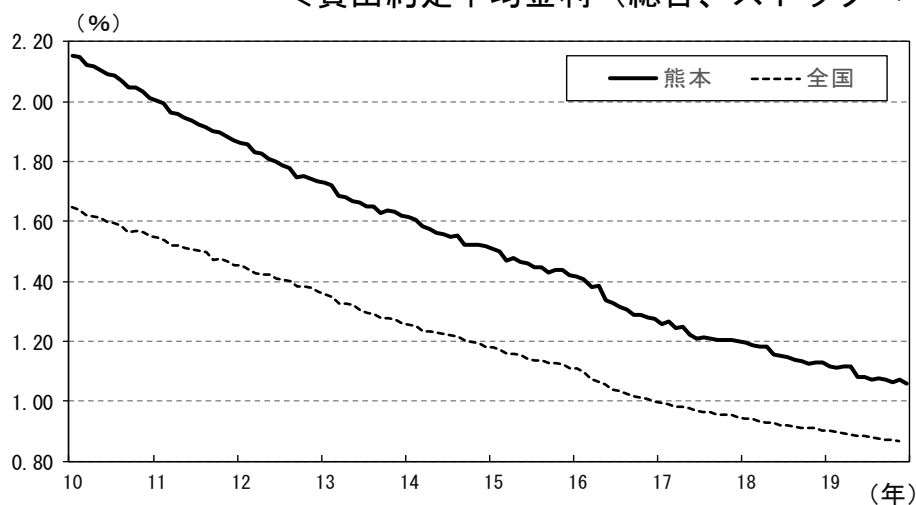


直近は12月（速報値）

（注1）実質預金＝表面預金－切手手形。

（注2）熊本県は、預金・貸出金ともに銀行（ゆうちょ銀行を含まない）・信用金庫・信用組合の合計で、末残ベース。全国は預金が3業態（都銀・地銀・地銀Ⅱ）計、貸出金が国内銀行計で、いずれも平残ベース。

＜貸出約定平均金利（総合、ストックベース）＞



（注）国内銀行ベース（熊本県は信託銀行を除く）。

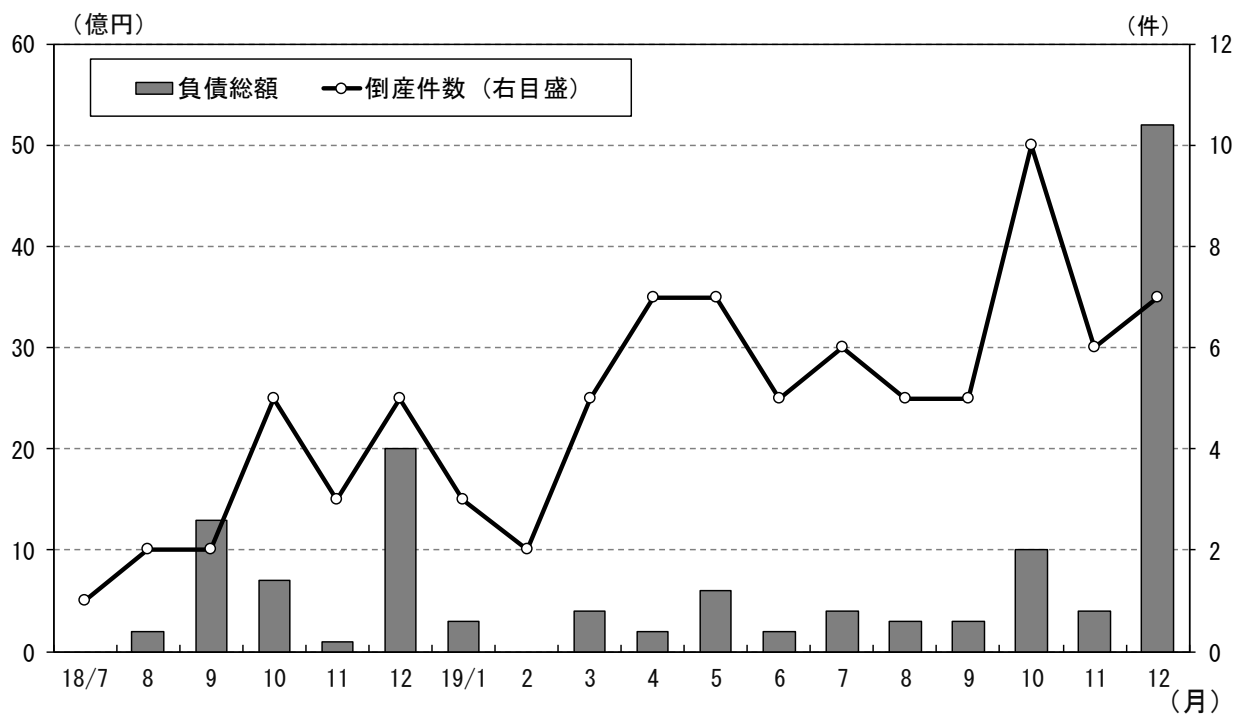
（出所：日本銀行）

熊本の直近は12月、全国の直近は11月

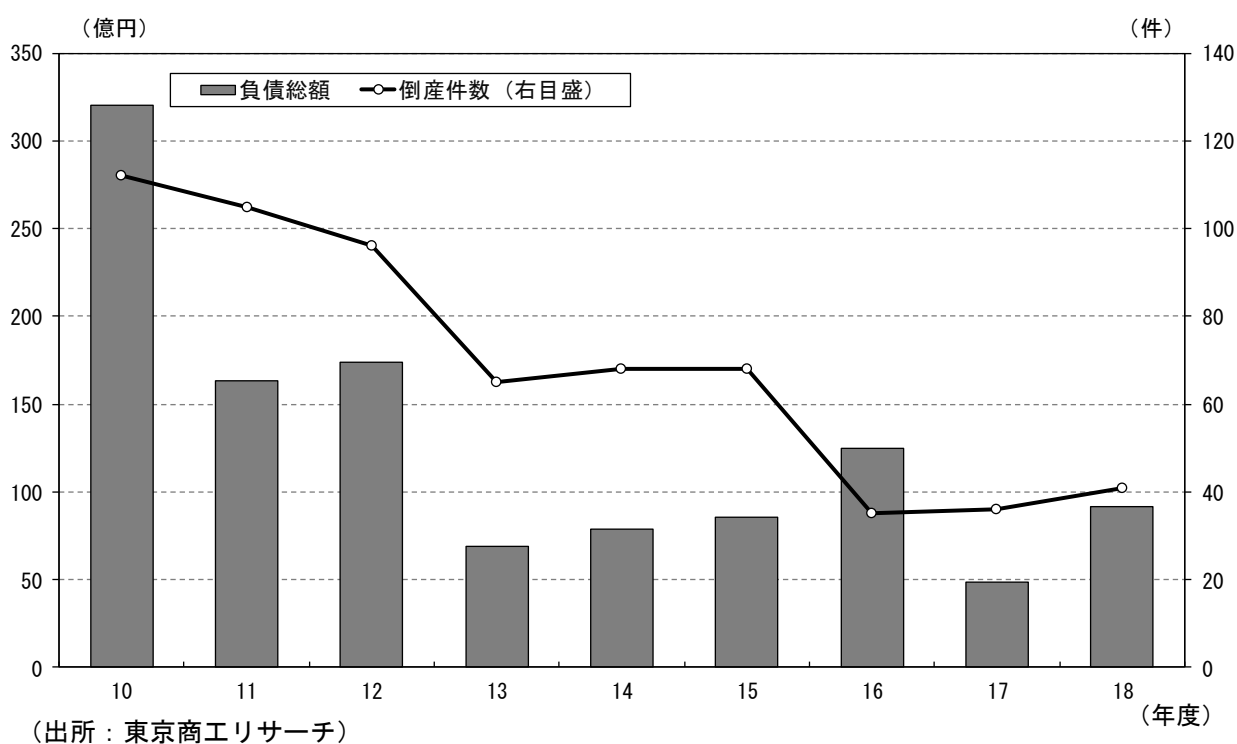
## 10. 企業倒産

19年12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

＜企業倒産（負債金額10百万円以上）＞



＜企業倒産（負債金額10百万円以上、年度ベース）＞



以上